

<自己評価1回目>

※黄色のセルをすべて記入してください。

整理番号

2024P-

403

補助事業者名

2024年度 福祉車両・就労支援車両の整備 補助事業

別紙4 JKA補助事業 2024年度 事前計画／自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

(a) 個別項目評価

作成日

2025

年

10

月

16

日

作成者

中野秀崇

●個別の評価項目について、事前計画／自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。

(1) 受益者 (ニーズ)		2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点
(2) 事業内容		移送車(リフト車)を2025年9月10日に同入した。同月11日より当該車両を運用しており、施設利用者の病院受診等に活用している。			
事業の新規性または継続の必要性		2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点
事業の発展性		2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点
実施計画・体制		納期の変更があり、約10ヶ月遅れての納車となったが、仕様どおりの車両を整備することができた。以下の体制により着実な事業の執行ができています。 (1)事業責任者 理事長・施設長 櫻井俊司 (2)事業担当者 理事長代理・副施設長・生活相談員 中野秀崇			採点 4
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値] 2025年9月10日 納車	[達成状況] 100%	[具体的内容] 2024年4月2日に交付決定通知書を受理し、5月14日に入札を執行、同17日に宮崎トヨペット株式会社日向店と契約締結・発注した。半導体不足の影響で納期の変更があったが、2025年9月10日に、仕様どおりの車両が納車された。	採点 4
	事業の成果・波及	[達成値] (1) 一日平均利用者数 5人 (2) 月平均稼働日数 22日	[達成状況] (1) 一日平均利用者数 2.85人 57% (2) 月平均稼働日数 20日 90.9% ※2025年 9/11～10/10の集計値	[具体的内容] 施設利用者54人(うち短期1人※2024. 10. 1現在)については、全員が月1回程度、定期にかかりつけ病院である美郷町国民健康保険西郷病院を受診するほか、近隣市の皮膚科や循環器科等の専門医院にも通院しており、当該車両を活用して計画的に移送を行う。また、急病の移送についても当該車両で迅速に対応する。併せて、地域行事や学校行事への参加等、園外活動についても随時に活用する。 ※2025年 9/22～10/7 の間に施設内でコロナクラスターが発生した。病院受診のための移送についてはコロナ罹患者(1日あたり1～2人)が中心となり、定期受診予定の施設利用者は医師の回診対応となったため、通常とは異なる状況となっている。	採点 4
(4) 情報発信	事業の実施結果	[達成値] (1) 利用者家族、関係者への文書での周知 (2) 法人ホームページによる周知 (3) 夕刊デイリー新聞への掲載依頼 (4) 美郷町広報誌への掲載依頼	[達成状況] (1) 文書で周知済 100% (2) 法人ホームページ掲載済 100% (3) 夕刊(2025.10.9)記事掲載 100% (4) 11月号記事掲載 100%	[具体的内容] 利用者家族・関係者へは、文書にて確実に周知を行う。法人ホームページにおいては、事業の内容と併せて活用状況等の画像を掲載し視覚的にもわかりやすいかたちで広報する。夕刊デイリー新聞については、宮崎県延岡市・日向市を中心に宮崎県北9市町村をエリアとする地域密着型の夕刊紙であることから、県北地域に広く周知するため掲載を依頼する。美郷町広報誌については、毎月1町内全世帯へ配布が行われることから、確実に町民への周知が可能であるため掲載を依頼する。	採点 5
	競輪・オートレース補助金による事業であること	[達成値] (1) 利用者家族、関係者への文書での周知 (2) 法人ホームページによる周知 (3) 夕刊デイリー新聞への掲載依頼 (4) 美郷町広報誌への掲載依頼	[達成状況] (1) 文書で周知済 100% (2) 法人ホームページ掲載済 100% (3) 夕刊(2025.10.9)記事掲載 100% (4) 11月号記事掲載 100%	[具体的内容] (1)～(4)について公益財団法人「2024年度競輪公益資金による体育事業その他の公益の増進を目的とする事業」の補助金を活用している旨を明記した。 (2) 法人ホームページの記事において、JKA Social Action、KEIRIN.JP及びAuto Raceのバナーを配置している。また、ホームページ閲覧数が2025年4～9月は9,261件、10月は15日までに1,001件となっており、計画策定時の平均6,488件/年、540件/月を大きく上回っている。	採点 5
(5) 自己評価の体制		事業評価委員会により評価を行った。また、2025年10月28日に開催予定の法人理事会において、事業評価委員会の評価結果を検討し、より効果的な事業の推進に資する。評価結果の法人ホームページでの公表を2025年11月中に行う。			採点 3

(b) 総合評価

総合
評価点

4

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。

(1) 事前計画 (2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	仕様どおりの車両を導入した。リフト仕様とすることにより、車椅子での移送をスムーズにし、職員の負担軽減を図るとともに、ストレッチャー固定装置を設置することで、寝たきりの利用者のストレッチャーでの移送ができていた。これにより、利用者の確実で安全な通院の足を確保し、健康面の安全・安心に繋げることができた。また、感染症対策により園外活動が難しい状況が続いているが、今後、地域行事や学校行事への参加等園外活動に積極的に活用し、地域社会との交流を促進したい。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	・指名競争入札を実施し、計画予算かつ仕様書どおりの導入ができた。 ・リフトを使用することで、利用者の乗下車における安全確保と、職員の介護負担軽減が期待できる。 ・センサー等の安全装置を備えているため、事故リスクの低減が期待できる。 ・夕刊、町広報誌及び法人ホームページにより効果的な情報発信ができた。 ・世界的な半導体不足により、当初計画より納期が約10ヶ月遅れてしまった。
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点	利用者の家族に、施設におけるリフト車の必要性を理解いただくとともに、導入に対して競輪とオートレースの補助金が活用されていることを知っていただきたい。

【福祉車両・就労支援車両】

別紙 JKA補助事業 2024年度 事前計画／自己評価書(5／5)

(c) 事業の促進・阻害要因の自己分析

- 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)～(15)の「促進」または「阻害」欄に「＊」を記し、要因の内容を a 欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを b 欄に、それぞれの要因分類の番号(1)～(15)を付して、具体的にご記入ください。
- 促進または阻害要因が無い場合には、(16) の欄に「＊」を記してください。

事業の促進・阻害要因の自己分析				
	促進	阻害	要因分類	a. 促進または阻害要因の具体的な内容 b. 対応、今後この分析結果をどう活かすか。
内部要因	＊		(1) 経費	(1) 指名競争入札を実施し、計画予算かつ仕様書どおりの導入ができた。 (4) 半導体不足により、発注した車両が生産停止となり、納期が当初計画よりも約10ヶ月遅れてしまった。 (5) 夕刊、町広報誌及び法人ホームページにより効果的な情報発信ができた。 (4) 他メーカー・他ディーラーにおいて同等の車両も可として、事前に納期内に確実に納車できるか確認し発注する。
			(2) 実施体制 (人員、関係機関の協力等の確保)	
			(3) 資材調達 (事業実施に必要な物資等の確保)	
		＊	(4) 実施期間 (事業終了までに要する期間)	
	＊		(5) 事業運営のノウハウ (進捗管理、資金管理等)	
			(6) 設計仕様の変更 (主に建築)	
			(7) その他	
外部要因		＊	(8) 受益者の規模・ニーズ	(8) 集計期間が1ヶ月であったことと、施設内でのコロナクラスターの影響で、統計的値として適切に効果を検証できなかった。 (8) 今後、適切に数値を集計し効果を検証する。
			(9) 実施体制以外の団体等の協力・支援	
			(10) 関連法制度の変更	
			(11) 利害関係者 (受益者以外)の要望への対応	
			(12) 災害の発生 (地震、洪水等)	
			(13) 同様の技術開発	
			(14) 競合するサービス・事業の出現	
			(15) その他	
			(16) 特になし	